

## 「医学系研究に関する情報公開文書」

研究機関名：東北医科薬科大学病院

受付番号	2020-2-015
倫理審査（初回審査）	西暦 2020 年 5 月 29 日
研究課題名	大腸癌における BEX2 分子の役割についての検討
研究の対象	当院において 2008 年以降、大腸癌の手術（内視鏡手術を含む）を受けた症例（200 例）
研究の目的・方法	大腸癌は本邦で近年増加傾向であり、また今後も増加していくことが予想されている。大腸癌の予後を改善させるためには、新たな分子マーカーや画期的な治療法が必要である。BEX2 は成人の消化管ではほとんど発現を認めないが、胆管癌の癌幹細胞と考えられる細胞に特異的に発現していることが、明らかになりつつある。そこで、この BEX2 が大腸癌で、どのような役割を担っているか検索する。研究期間：承認日～2023 年 3 月 31 日もしくは 200 例が到達した時点
調査データ該当期間	西暦 2008 年 1 月 1 日 ～ 西暦 2023 年 3 月 31 日 （200 例 到達次第終了）
研究に用いる試料・情報の種類	試料：通常手術で摘出された大腸がん患者さんの組織標本
外部への試料・情報の提供	共同研究機関である宮城県立がんセンター研究所への試料の提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者が保管・管理します。
研究組織	研究組織 1) 研究責任者：東北医科薬科大学 消化器外科：安本明浩 2) 研究分担者：同 消化器外科：柴田近、小川仁、 同 消化器内科：佐藤賢一、小暮高之、福士大介、 同 病理部：中村保宏、村上一宏、島田洋樹、 宮城県立がんセンター研究所：玉井恵一
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書 及び 関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象

	<p>としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、研究対象者に不利益が生じることはありません。</p> <p>【照会先 及び 研究への利用を拒否する場合の 連絡先】</p> <p>仙台市宮城野区福室 1-12-1</p> <p>TEL 022-259-1221 (代)</p> <p>研究責任者：</p> <p>東北医科薬科大学病院 消化器外科 安本 明浩</p>
--	---

#### ◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：上記「お問い合わせ先」

#### ※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

#### ◆個人情報の開示等に関する手続

当院が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、当院の職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。診療情報に関する保有個人情報については、東北医科薬科大学病院 医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「個人情報保護方針」をご覧ください。

【東北医科薬科大学病院 個人情報、患者さんの権利】

[http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/info/privacy\\_policy.html](http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/info/privacy_policy.html)

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合